

**みやぎNPO夢ファンド（A）組織開発（人材育成を含む）支援プログラム**  
**平成21年度助成事業 最終報告書**

平成21年4月30日

団体名	発達支援ひろがりネット
事業名	発達支援ひろがりネット組織運営強化事業
助成金を使って行った研修事業について、具体的にご記入ください。 (事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)	
<p>♥♥♥♥♥♥ はじめに ♥♥♥♥♥♥</p> <p>発達支援ひろがりネットとして活動を始めて約3年が経過しています。しかし、時間がたつにつれて、発足当時に皆の共通認識とはそれぞれの思いが、少しずつ違ってきたようにも感じられるようにもなりました。また、発達障害が認識され始め、ひろがりネットへの期待と依頼も多くなり、それに答えるだけの体力がないことを認識するも、応えようとするために一定の人にのみ負担をかける状態になっていました。</p> <p>認識があるが、これを改善することがわからず、八方塞であったことも否めない状態でした。</p> <p>しかし、このような機会が与えられ、皆で当初の志を確認することが出来ました。規約の改定をしながら、どうすれば皆でこれからこの会を活動しやすい団体に出来るかを模索しながら動いていますが、軌道修正の道筋が得られたと感じています。そして、発達障害者やその家族が暮らしやすい世の中になるために少しでも役に立っていると自負できるような団体になるよう努力していきたいと思います。今回このような機会を与えていただいたことを深く感謝申し上げます。</p>	
助成金を使って行った研修事業について、ご記入ください。(続き)	
<p><b>第1回 (2009年8月20日)</b> [参加団体6団体・人数9人] 講師:加藤 哲夫氏 &lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ひろがりネットがこの助成金を何故申請したかの説明。</li><li>・ひろがりがあったこと。</li><li>・ひろがりネットの現状を参加者で確認。</li></ul> <p>&lt;学んだこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・活動している人たちの心の変化が必要</li><li>・報告書の書き方も知らない団体でした。(形式が決まっていなかった)しかし、現在は一定の書き方が出来ています。</li></ul> <p><u>添付資料</u>: 報告書・第1回まとめ</p>	

## 第2回 (2009年8月27日)

[参加団体7団体・人数12人]

講師：加藤 哲夫氏

<内容>

- ・ 全員がそろりまでの工夫が大事。(気持ちが会議や研修に向けるために)
- ・ 情報の共有のためにも、記録や事務の力が必要。
- ・ ワークショップ

<学んだこと>

- ・ 「全員が揃うまでの工夫として、ざわつきを押さえ、気持ちを会議や研修に向けるために」深呼吸や体を動かすこと。
- ・ メンバーの中で情報の共有化が大事であること。  
記録をとることが大事であること。(参加できなかった人とも理解が出来るよう)

添付資料：報告書・第2回感想

## 第3回 (2009年9月10日)

[参加団体7団体・人数12人]

講師：加藤 哲夫氏

<内容>

- ・ 事務局の大切さ、感謝。
- ・ 構成団体のタイプの復習。
- ・ 引き続きワークショップ

<学んだこと>

- ・ ワークショップは時間のかかる作業であったがこれを通して、共通認識や問題点を的確に浮かび上がらせることに繋がる事になることを学んだ。

添付資料：報告書・対策をたてる大きな方針

## 第4回 (2009年9月24日)

[参加団体7団体・人数12人]

講師：加藤 哲夫氏

<内容>

- ・ ワークショップで見えてきたこと
- ・ 方向性・目的をはっきり
- ・ 仕事・役割の明確化
- ・ 会員同士の相互理解

<学んだこと>

- ・ 方向性・目的をはっきりさせる。
- ・ 仕事・役割の明確にする。
- ・ 会員同士の相互理解をはかる。

添付資料：報告書・プログラム感想

## 第5回（2009年10月8日）

[参加団体6団体・人数8名]

講師：加藤 哲夫氏

<内容>

- ・ 組織構造化をどうするか。
- ・ 会員事業について（会費等も）

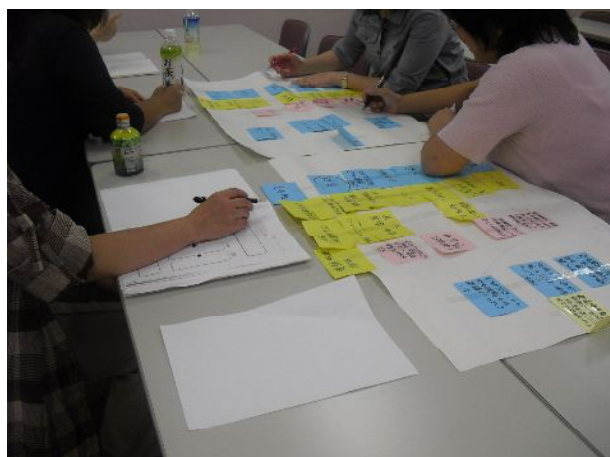
<学んだこと>

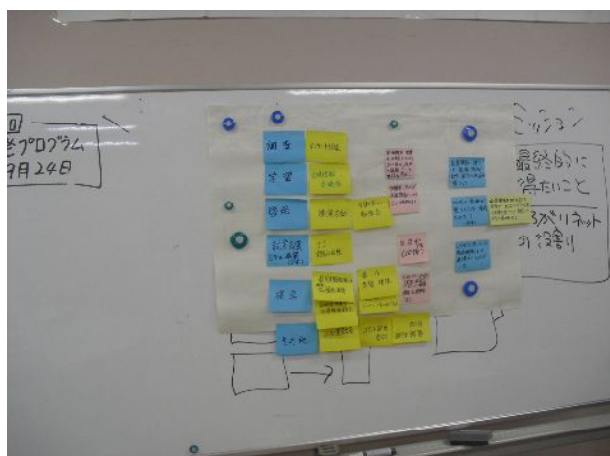
- ・ メーリングリストの作成し活用をしていく。
- ・ 事務や運営を共有化していく。
- ・ 業務日報を活用するなど。（メーリングリストなどを使用して。）

添付資料：報告書・感想



講師：加藤氏とワークショップ





ワークショップで出来あがったもの

### 振り返りについて

- ・ プログラム終了後や運営委員会を利用し振り返りを行った。
- ・ 運営委員会を振り返りの時間にも当てたことで、このプログラムに参加できなかった運営委員にもそのときの様子を伝える出来たことは良かったが、感想のみになってしまったところがあったことは反省するところだと思った。

添付資料：振り返りまとめ

当初の成果目標はどの程度達成できましたか。当初目標と比較して記入してください。

#### ●申請書に記載した成果目標

○ 運営会議の混迷

○ 活動の停滞

○個々の団体の運営委員のひろがりネットの目的にずれがある。

#### ●目標の達成度・団体に与えた効果

○ 議事の進め方については、以前よりスムーズに進行が出来るようになってきている。しかし、問題点を話し合うということについては、話し合いにならないで一方的な解決になっている場合もあるので、話し合うことの大事さを委員同士でもう少し時間をかけて認識しあう必要がある。

○ 新しい企画なども、担当者を決め運営することを始めて試みた。このことについては評価できると思う。しかし、途中で担当者が担えなくなるということになった。

○ この問題については、ひろがりネットに対する目的のずれは、今もある。それを調節していくために、団体で何を要求しているかを聞き取り、それにかなう調査などをグループ別に担当することにより、ひろがりネットに関心を持ってもらえるのではないかと考えている。(今後の課題でもある)

<p>●申請書に記載した成果目標（続き）</p> <p>○事務局の効率よいシステムがない</p> <p>○団体間の温度差、団体内の参加意識向上について</p>	<p>●申請書に記載した成果目標（続き）</p> <p>○事務局体制をなくした。ミーリングリストの活用、情報を委員税員に迅速に流すなどの工夫を行った。</p> <p>○上記にも示したが、問題意識を持てるような活動をしていくことが大切だと認識した。</p>
<p>●達成できない部分があった場合には、考えられる原因や、解決に向けて必要なことをお書きください。</p> <p>○ネットワークのために、現実には仕事を担ってくれる人の不足が上げられる。一定の人への仕事が集まっていることは否めない。そのために、会費を上げて、人件費に当てることや補助金なども活用することなどを考えていかななくてはいけないと思っている。</p> <p>○団体間の温度差については、皆で一つのことをしているのでは、必ずどこかでは不平・不満を持つ団体がでてくるので、それぞれの団体で興味を持てるような調査を持ち、発達障害者の生涯にむけてフォローできるような団体になれるのではないだろうか。</p>	
<p>今回の事業を、今後どのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか</p> <p>○組織の核となる規約を改定している。一人一人が今回のプログラムで今までかけていたものをそれぞれ認識が出来てきている。これを、これからの活動・調査などにいかしていけたらよいと思う。 しかし、そのためにも資金・マンパワーは不可欠のものとなってくる。</p> <p>♥♥♥♥♥♥ 最後に ♥♥♥♥♥♥</p> <p>組織のあり方については、これからも整備をしていかなければいけないところがたくさんあると思います。しかし、このプログラムに参加する前とは格段に意識の持ち方に違いが現れていると思います。 規約の改正を総会に向けて作成しております。今回のプログラムがあつてのものと思います。これまでのご指導を心から感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>	

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

#### 収入の部

項目	予算（円）	決算（円）	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	220,000	220,000	
参加費	75,000	60,000	12団体×5,000円

自己資金	10,000	4,309	
合計	305,000	284,309	

### 支出の部

項目	予算 (円)	決算 (円)	備考
講師謝金	250,000	250,000	50,000円×5回
講師交通費	5,000	0	
会場費	27,500	9,800	1400円×7回、0円×3回
事務消耗費	20,000	22,009	プロッキー・模造紙
雑費	2,500	2,500	講師弁当代
合計	305,000	284,309	

### 寄付をいただいた方へのメッセージをどうぞ

- ・ まずは心より感謝申し上げます。設立当初から無我夢中で歩いてまいりましたが、年月と共に、意識の統一を図ることが難しくなっていきました。そこで今回寄付をいただき、意識の持ち方とともに組織の改革を行うことができました。最終的には規約の改定に結びつけることができました。

今後は、今回勉強したことを糧とし活動を続けて行きたいと思います。

本当にありがとうございました。